

# 平成21年11月期 第1四半期決算短信

平成21年3月30日

上場会社名 アスカ

上場取引所 名

コード番号 7227 URL <http://www.aska.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 片山 敬勝

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 竹之内 敏昭

TEL 0566-36-7771

四半期報告書提出予定日 平成21年4月14日

配当支払開始予定日

未定

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年11月期第1四半期の連結業績(平成20年12月1日～平成21年2月28日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年11月期第1四半期	3,432	—	△110	—	△62	—	△43	—
20年11月期第1四半期	5,515	△1.8	281	△12.4	274	△15.1	158	△8.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年11月期第1四半期	△7.70	—
20年11月期第1四半期	27.72	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年11月期第1四半期	17,713	4,293	24.2	751.98
20年11月期	19,748	4,400	22.3	770.58

(参考) 自己資本 21年11月期第1四半期 4,293百万円 20年11月期 4,400百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年11月期	—	8.00	—	—	8.00
21年11月期	—	—	—	—	—
21年11月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年11月期の連結業績予想(平成20年12月1日～平成21年11月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	6,200	△44.9	△290	—	△300	—	△180	—	△31.52
連結累計期間	13,400	△42.5	△480	—	△490	—	△290	—	△50.78

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無  
 (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年11月期第1四半期	5,715,420株	20年11月期	5,715,420株
② 期末自己株式数	21年11月期第1四半期	5,136株	20年11月期	5,136株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年11月期第1四半期	5,710,284株	20年11月期第1四半期	5,710,484株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

※業績の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により、上記予想数値と異なる場合があります。
2. 当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱から世界的な景気の後退局面となり、株価の急落と円高の進行が企業収益を圧迫し、雇用情勢や個人消費が急激に悪化しました。

このような状況のなかで、当社グループは提案型の営業を積極的に展開するとともに、効率の高い製造体制を目指して、技術開発及び合理化活動を強力に推進しました。

しかしながら、昨年10月以降の仕事量の減少の影響は大きく、当第1四半期の連結売上高は34億3,275万円となりました。利益につきましては、全社をあげての経費削減に努めましたが、売上高減少に伴う利益減を補うことができず、営業損失は1億1,017万円、経常損失は6,200万円、四半期純損失は4,397万円となりました。

事業の種類別セグメントごとの概況は次のとおりであります。

## 〔自動車部品事業〕

平成20年10月以降、大幅に販売量が減少した結果、当事業の売上高は21億4,240万円となりました。

## 〔配電盤事業〕

新規得意先への受注拡大を積極的に展開しましたが、当事業の売上高は5億7,067万円となりました。

## 〔ロボットシステム事業〕

自動車部品メーカーの海外工場向けを含む自動化システムに加え、IT関連の制御システムも落ち込んだ結果、当事業の売上高は6億2,490万円となりました。

## 〔その他の事業〕

新規取引先の開拓を積極的に推進した結果、当事業の売上高は9,477万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ総資産は受取手形及び売掛金の減少などにより20億3,485万円減少し177億1,318万円となりました。負債は、支払手形及び買掛金の減少などにより19億2,863万円減少し134億1,918万円となりました。純資産は利益剰余金及び評価・換算差額等の減少により1億622万円減少し42億9,399万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

## ①「四半期財務諸表に関する会計基準」の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## ②「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産について、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基

づく簿価切り下げの方法)により算定しております。

当該変更による損益に与える影響は軽微であります。

なお、セグメント情報に与える影響は軽微であるため、記載を省略しております。

<追加情報>

(平成20年度 税制改正に伴う機械装置の耐用年数変更)

法人税法の改正を契機に当社は機械装置について経済的耐用年数の見直しを行っております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

なお、セグメント情報に与える影響は軽微であるため、記載を省略しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	598,138	456,448
受取手形及び売掛金	3,179,442	4,703,468
有価証券	180,760	176,503
製品	98,502	106,022
仕掛品	481,020	720,816
原材料及び貯蔵品	327,072	324,684
その他	291,738	527,619
貸倒引当金	△161	△235
流動資産合計	5,156,512	7,015,328
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,051,712	3,104,206
機械装置及び運搬具(純額)	2,642,934	2,755,296
土地	3,704,795	3,704,795
その他(純額)	847,620	838,564
有形固定資産合計	10,247,062	10,402,862
無形固定資産	48,903	53,143
投資その他の資産		
投資有価証券	1,201,980	1,302,527
その他	1,065,725	981,183
貸倒引当金	△7,000	△7,000
投資その他の資産合計	2,260,706	2,276,710
固定資産合計	12,556,672	12,732,716
資産合計	17,713,185	19,748,044
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,422,621	5,110,312
短期借入金	3,500,000	3,800,000
1年内返済予定の長期借入金	2,629,324	2,429,300
未払法人税等	13,857	139,130
賞与引当金	29,356	21,476
その他	554,378	987,199
流動負債合計	10,149,538	12,487,419
固定負債		
長期借入金	2,402,022	1,991,500
退職給付引当金	640,981	642,260
役員退職慰労引当金	226,643	226,643
固定負債合計	3,269,647	2,860,403
負債合計	13,419,185	15,347,822

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	903,842	903,842
資本剰余金	901,555	901,555
利益剰余金	2,640,131	2,684,101
自己株式	△2,985	△2,985
株主資本合計	4,442,544	4,486,514
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△100,406	△69,479
為替換算調整勘定	△48,138	△16,812
評価・換算差額等合計	△148,544	△86,292
純資産合計	4,293,999	4,400,222
負債純資産合計	17,713,185	19,748,044

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年12月1日 至 平成21年2月28日)
売上高	3,432,752
売上原価	3,257,764
売上総利益	174,987
販売費及び一般管理費	285,166
営業損失(△)	△110,179
営業外収益	
受取利息	2,381
受取配当金	24,968
持分法による投資利益	3,346
助成金収入	18,041
その他	21,668
営業外収益合計	70,407
営業外費用	
支払利息	22,233
営業外費用合計	22,233
経常損失(△)	△62,005
特別利益	
貸倒引当金戻入額	73
特別利益合計	73
税金等調整前四半期純損失(△)	△61,932
法人税、住民税及び事業税	14,979
法人税等調整額	△32,941
法人税等合計	△17,961
四半期純損失(△)	△43,970

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年12月1日 至 平成21年2月28日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失(△)	△61,932
減価償却費	317,613
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△73
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,880
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,278
デリバティブ評価損益(△は益)	△1,373
受取利息及び受取配当金	△27,349
支払利息	22,233
持分法による投資損益(△は益)	△3,346
売上債権の増減額(△は増加)	1,524,025
たな卸資産の増減額(△は増加)	244,929
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,687,690
未払消費税等の増減額(△は減少)	42,232
その他	△184,638
小計	191,230
利息及び配当金の受取額	25,549
利息の支払額	△23,170
法人税等の支払額	△124,731
営業活動によるキャッシュ・フロー	68,879
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△256,137
投資有価証券の売却による収入	14,250
貸付けによる支出	△490
貸付金の回収による収入	1,717
その他の支出	△262
その他の収入	40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△240,882
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000
長期借入れによる収入	1,300,000
長期借入金の返済による支出	△689,454
配当金の支払額	△53
財務活動によるキャッシュ・フロー	310,492
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,456
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	145,946
現金及び現金同等物の期首残高	632,951
現金及び現金同等物の四半期末残高	778,898



当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、四半期連結財務諸表規則に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間(自平成20年12月1日 至平成21年2月28日)

	自動車部品 事業(千円)	配電盤事業 (千円)	ロボットシステム 事業(千円)	その他の事業 (千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	2,142,407	570,670	624,901	94,772	3,432,752	—	3,432,752
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	58,941	35,220	1,524	95,685	(95,685)	—
計	2,142,407	629,612	660,121	96,296	3,528,438	(95,685)	3,432,752
営業利益又は営業損失(△)	△237,307	46,205	51,664	28,223	△111,214	1,035	△110,179

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品又は内容

事業区分	主要製品又は内容
自動車部品事業	フロア(フロント・リア)、ピラー(フロント・センタ)、マフラー、フード、センタメンバ、サスペンションアーム等
配電盤事業	分電盤、制御盤、FAボックス、盤用キャビネット等
ロボットシステム事業	産業用ロボット(ユニロボ)、自動化システム、制御装置、情報通信機器等
その他の事業	人材教育及び研修事業等

[所在地別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間(自平成20年12月1日 至平成21年2月28日)において本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第1四半期連結累計期間(自平成20年12月1日 至平成21年2月28日)において、海外売上高は、いずれも連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年12月1日～平成20年2月29日)

科目	前年同四半期 (平成20年11月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	5,515,256
II 売上原価	4,803,600
売上総利益	711,656
III 販売費及び一般管理費	430,625
営業利益	281,030
IV 営業外収益	32,202
V 営業外費用	39,049
経常利益	274,184
VI 特別利益	4,268
VII 特別損失	4,882
税金等調整前四半期純利益	273,570
税金費用	115,296
四半期純利益	158,274